

# 「スマート農業のための無線システム活用ハンドブック」の公表

北海道総合通信局は、令和4年3月にスマート農業の円滑な社会実装を推進するという視点から、ワイヤレス・ブロードバンド(WBB)を活用する際の利点や留意すべき事項について、「スマート農業のための無線システム活用ハンドブック」として取りまとめました。

本ハンドブックでは、北海道農政事務所、北海道開発局、北海道農政部、農業・食品産業技術総合研究機構等の協力を得て、これまで実施された国等の実証試験や実際の導入事例を分析・整理を行い取りまとめました。

## ◆ ハンドブックの概要

### 第1章 スマート農業×電波利用の事例研究・分析

スマート農業の導入に向けた実証事例（ロボットトラクタ、ドローン、センサー）を紹介。

### 第2章 スマート農業に用いられる無線システムの特徴

無線システムごとの技術的特徴を紹介。

### 第3章 スマート農業におけるWBB活用パッケージ

導入したいスマート農業に対して、どの無線システムを利用すべきかの検討材料を紹介。

### 第4章 無線システム導入のための手続等

無線システムに係る法律上の申請手続きのほか、総務省の支援事業（自治体向け）を紹介。

### 第5章 用語集

ハンドブック内に記述のある専門用語等を説明。

### その他 参考情報

スマート農業関連の情報や相談先が掲載されているURLを紹介。



ロボットトラクタ



ドローン



センサー  
(牛に装着したもの)

## ◆ ハンドブックの周知・活用に向けた取組

道内14カ所に設置がある農業改良普及センターに所属する普及指導員（614名）に対するセミナーや研修会を北海道と連携し、ハンドブックの周知・活用を推進します。

農業改良普及センターには30の支所があり、地域営農者への個別経営や実践的な技術の普及指導を実施しており、ハンドブックを有効に活用していただくよう取り組んでまいります。

